

## 暴れ川として恐れられた 近江太郎、野洲川。

かつての野洲川は、野洲町市三宅の西で南北2つの流れに分かれ、さらに、川は天井川となつて増水のたびに幾多の洪水被害をもたらしてきました。一方、平常時には、水が地中に浸透してしまふ結果、伏流水が多く、安定した農業用水を確保できない川として、長年にわたり人々を苦しめてきました。



南流左岸堤決壊による洲本地先の浸水状況  
(昭和28年9月)

野洲川 洪水と治水の歴史

	西暦	年号	気象状況	災害状況
江戸時代	1653	承応 2年		暴風雨で野洲川氾濫し伊勢落の堤防決壊。50町歩の田畑荒れ周辺3村の境界不明に
	1802	享和 2年		6月29日大暴風雨。今浜、中野、野洲、播磨田、小島、田中、吉身、立入、出庭、守山、林決壊
	1807	文化 4年		5月中旬より大雨続き、洪水にて守山、草津流れる
明治・大正時代	1885	明治18年	台風	6月18日～7月7日まで20日間大雨。善岸堤防、川田村字小川原、水保堤防、三上村堤防、市三宅村堤防決壊
	1896	明治29年	台風 前線性	9月7日今浜堤防、善岸堤防、立入堤防等が決壊。琵琶湖の洪水と重なり中洲地区は一面泥海と化す
	1913	大正 2年	台風	10月3日笠原堤防が決壊し、死者32名、流失家屋21戸、浸水田地300町の被害
昭和時代	1934	昭和 9年	室戸台風	9月21日野洲川鉄橋で貨物列車12両転覆。死者4名、重軽傷者25名、住家全壊120戸、半壊105戸、非住家全壊366戸、半壊63戸
	1953	昭和28年	台風13号	9月25日中主町野洲川北流右岸堤防他決壊。26日笠原井関決壊、死者4名、重傷170名
	1965	昭和40年	台風24号	9月17、18日今浜新田14カ所決壊。大川橋、新川橋流失、死者1名。川田地先の内堤防決壊、田畑230反埋没 新川部の測量開始
	1967	昭和42年		放水路の工事着手
	1971	昭和46年		放水路への通水開始
	1979	昭和54年		放水路への通水開始



南北流の中間に設けられた放水路

**わが国最大級の河川改修、野洲川新放水路工事。**

昭和28年の台風13号による大災害が契機となり、昭和33年から建設省による抜本的な改修の調査が始まりました。さまざまな計画検討の後、昭和46年に南北流の中洲部にはほぼ直線の放水路を設ける工事がスタート。昭和54年には通水が実施されました。この放水路の建設は、河川改修工事としては、わが国でも最大級のもので、これによつて数年に一度の割合で発生していた災害の歴史にピリオドが打たれ、野洲川の治水能力は大きく向上しました。